学校・家庭・地域をつなぐ

らいん

子どもを育む活動情報紙

No.１２４

2024.9 月

見やすく、親しみやすい広報紙をめざして
「らいん」をリニューアルしました！

発行：春日市教育委員会地域教育課
TEL 092-981-0101
FAX 092-584-1153

天神山小三地区合同アンビシャス広場

▲バルーンを楽しむ子どもたち

天神山小学校区の天神山、白水池、松ヶ丘の３地区が協力して、月に１回、学校を会場に合同アンビシャス広場を開催しています。

運営にあたっているのは、自治会、地域住民、保護者のボランティア。バルーン、スライム作り、玉入れ、昔遊び、グラウンドゴルフなど趣向を凝らした内容で、毎回１００人以上の子どもたちが参加しています。

実行委員長の松永さんは、「住んでいる地区に関係なく、天神山小の子どもたちみんなに学校で伸び伸びと遊んでほしい」と話しました。

▲三地区合同アンビシャス広場実行委員会の皆さん

地域の輪（和）、人と人との輪（和）を**つなぐ**という意味を込めて名づけた“らいん”。市内各地区の活動を地域教育課職員が取材し、発信します。

市ウェブサイト　X（エックス）（旧ツイッター）

春日中校区

春日小学校アンビシャス広場
リリーズ　夏休みイベント

▲親子で製作

８月２日（金）、春日小学校アンビシャス広場「リリーズ夏休みイベント 2024」が開催され、小学生２１名が参加。この日は、レジンを使ったキーホルダーを製作しました。

低学年は保護者同伴で参加。友だち同士で教え合ったり、スタッフに聞いたり、丁寧に作業を進めていきました。

リリーズ代表の平川さんは「レジンは太陽光で固まるものもあります。夏休みに家庭でも楽しんでください」と話しました。

春日東中校区

光町公民館　交通安全教室

▲自転車でコースを走行する様子

５月２６日（日）、光町公民館で交通安全教室が開催され、小・中学生約３０名が参加。春日警察署から講師を招き、特に、自転車の安全な乗り方について学びました。

子どもたちは、公民館横の公園に設置されたコースを、「止まれ」の標識や横断歩道に気をつけながら、自転車で走行しました。

春日警察署の佐藤さんは「自転車は車やバイクと同じ車両。交通ルールを守って走行しましょう。命を守るために、ぜひヘルメットをかぶってほしい」と話しました。

春日西中校区

春日西アンビシャス広場
泉公民館　図書室開放

▲静かに読書する子どもたち

泉公民館では、毎月末の土曜日に、児童図書室の開放を行っています。

昨年度、公民館の大規模改修に伴い、児童図書室も大幅リニューアルされました。

机や椅子、壁や床に至るまで真新しい木が使用され、落ち着いた図書室に生まれ変わりました。

来館していた子どもたちは「ゆっくり本を読むことができてうれしい」と、目を輝かせながら、本を選んでいました。

春日南中校区

春日南中学校アンビシャス広場
なんちゅうカレッジ

▲講座「ギターを弾こう」

なんちゅうカレッジは、７月から１２月までの土曜日（計１０回）に、春日南中学校で開催されています。

平成１４年にスタートし、２３年目となる今年度は、茶道や電子工作、ギター、ゴルフなど、様々な分野の２１講座が開設されています。

講師は多くの地域住民が担っており、中学生にとって、学校の教科では学べない知識を得たり、保護者や先生以外の大人と接する貴重な機会となっています。

春日野中校区

平田台公民館

ふらっとあるこう会・新一年生を迎える会

▲ウォークラリーポイントでの様子

５月２５日（土）、青空の下、平田台自治会と子ども会合同で「ふらっとあるこう会」が、日の浦公園にて行われました。開始２年目となる今回は、新一年生を迎える会を兼ねて開催されました。

子どもたちはたてわり班で公民館から出発。子ども会育成会の役員や保護者ボランティアが付き添い、誘導に立ちました。この日は、一般の部、小学生、スタッフ合わせて計２００人が参加。それぞれのペースで公園内のチェックポイントを回り、完歩していました。

春日北中校区

岡本公民館　ドンカン祭り

▲町内を練り歩く子どもたち

８月７日（水）、岡本地区でドンカン祭りが開催されました。ドンカン祭りは、旧暦の七夕の日に、子どもたちが鐘や太鼓を鳴らしながら、畑を荒らす虫を追い出す春日市の伝統行事で、別名「虫追い祭り」と言われています。現在は農家が減ったため、市内で実施しているのは岡本地区だけになりました。

熊野神社の神事に参加し、おはらいを受けた子どもたちは、「ドンカン、ドンカン、ドンカンカン」と元気に太鼓と鐘を鳴らしながら、町内を巡回しました。

地域コーディネーターの活動を紹介します！

春日東小学校地域コーディネーター
日野（ひの）　理絵（りえ）さん、仁田野（にたの）　聖子（せいこ）さんに
お話を伺いました

　現在、春日東小学校の地域コーディネーターは、２人体制で活動しています。地域と学校とをつなぐため、校外活動の連絡調整や引率、授業のお手伝いなどをしています。
　また、コミュニティ通信「ハンド in ハンド」や学校のホームページ「地域コーディネーターのお部屋」などで、子どもたちの様子を情報発信しています。
　今年の新体力テストでは、のべ４５０名もの保護者がボランティアとして参加してくださいました。学校・家庭・地域の三者の協働のもと、東小がさらに「笑顔」であふれるようなお手伝いができたらと思います。

▲新体力テスト

▲地域の防災学習

▲名人さんといもほり

きらり春日の人

箸りんぴっく
中村和夫（なかむらかずお）さん
国際箸学会会員・お箸文化の伝道士
福岡県放課後児童支援員

　市内の子ども食堂や放課後児童クラブで、年間１，２００人以上の子どもたちに「箸りんぴっく」を指導している中村さん。
　「箸りんぴっく」は、１分間に箸で殻付きピーナッツを何個移動できるかを競うゲームです。
　中村さんは、「お箸で挟む、つまむ、運ぶなどの細かい動作は、集中力を養い、手先、指先を使うことで脳の発達に良い影響を与えると言われています。１０年前と比べると、お箸を正しく使える子どもが減ってきました。家庭でも箸の正しい使い方を指導してほしいです」と話しました。

▲お箸の持ち方を指導している様子